

意見交換会・フリーディスカッション ワークシート ※本ワークシートは、必要に応じて発言メモとしてご利用ください。

I 【目指すべき姿】 ①名寄市の子どもたちにどのように育ってほしいか

●多様化・国際化が進む中で、名寄市の子どもたちにどのような力を身に付けてほしいですか。

目指すべき「15 歳の姿」はどのような姿ですか。

(例) 自分の人生を自分で決められる子どもになってほしい／多様な価値観を認め合い社会とつながる力を身につけてほしい／自分はここにいてよい、自分には役割があると感じながら、自分らしく学び、成長できる子どもになってほしい 等

●第 1 回意見交換会の整理からみえた【4 つの視点】 ●
※この 4 つの視点も使って、検討してみてください

①【子どもの居場所】誰もが自分らしく
いられる学校像

・規模に関わらず、子どもが「ここにいてい
い」と感じられる環境を整え、個々の特性
に合った指導を重視する視点

②【魅力・特色を生かした学校づくり】
魅力・特色ある学びの創造

・規模の優劣ではなく、各校の強みを伸ば
し、課題を補いながら、魅力化・特色化を
図る視点

③【社会との接続】教室の枠を超えた
「生きた学び」

・地域・大学・企業等と連携し、実社会と
つながる体験的な学びを通じて、子どもた
ちの多様な可能性を

④【一貫した連携】成長をバトンでつな
ぐ「切れ目のない支援」

・幼小中高大の接続を強化し、学校間で
互いの強みを補完し合いながら、子どもの
発達を継続的に支える

II 【目指すべき姿に向けた必要な取組】 ②学校規模ごとの魅力・課題・課題の対応策、多様化・国際化に対応した魅力づくり

上の設問で想像した子どもたちの姿を実現するために、どのような学校づくりが必要ですか。

項目	普通規模校	小規模校	極小規模校
生かしたい魅力・強み			
課題・不安			
課題に対応するための取組			
多様化・国際化に対応した取組			
その他			

Ⅲ 【目指すべき姿に向けた必要な取組】 ③極小規模校でしか得られない教育的価値の最大化

※特認校である極小規模校（中名寄小学校・智恵文小中学校）の維持・魅力化に向けた新たな取組（案）について

- ・極小規模校だからこそできる教育価値をどう高めるか
- ・名寄市全体の教育の質の向上のために、モデルケース的に新たな取組を実践する場合、どのような取組が考えられるか

残したい・伸ばしたい価値	新たに必要な取組・支援

Ⅳ その他 ※答申に盛り込むべき視点・気になること